

## 令和2年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

**近藤 智昭 議員**

◇学校給食における県産農水産物の提供について

(1) 学校給食活用推進事業について、具体的な学校での実施状況や提供された給食を食べた児童生徒の反応はどうだったか伺いたい。

(教育長答弁)

学校給食活用推進事業については、公立学校504校において、年間約5,700回の提供を予定しております。8月までに358校において約770回実施し、肉類はサイコロステーキやハヤシライス、鶏ごぼう汁など、魚は照り焼きやマリネ、和風あんかけなどで提供いたしました。

児童生徒からは、いずれのメニューについても「おいしかった」との感想や、食べ残しがなかった、普段おかわりしない子もおかわりをしたなど、大変好評であったと聞いており、改めて県産食材の素晴らしさを認識したのではないかと考えております。

(2) 学校給食活用推進事業を教育現場でどのように活用したのか伺いたい。

(教育長答弁)

これまでも、学校給食においては、地場産物を活用し、児童生徒が地域の食文化や産業等について理解できるよう、各学校が特色を生かした取組を実施してまいりました。とりわけ、今回は本事業を通して長崎和牛やブリ、マダイなど、価格の面から通常使用することが難しい高級な食材を提供いただいたことを受け、長崎和牛が全国和牛能力共進会で内閣総理大臣賞を獲得したことや、身近で養殖されているブリが、世界各国に出荷されていることなどについて学ぶ機会が作られ、地域産業への理解が深まり、生産者に対する感謝の心がより一層育まれたのではないかと考えております。